



ひらかわ
平川 富章
水曜会
(50分)
QRコード

保育士の人材確保の取り組みは

問 昨年度から現時点までの実績は。

答 昨年度、保育士復職支援コーディネーターの配置や就職応援金制度の創設により、33人の確保につながった。今年度も、5月末時点で14人の採用が決定している。

地域コミュニティーは

問 ①現在のデジタル化の取り組みは。

②多様な主体との連携の促進は。

答 ①2022年度から市内の全79学区を対象に、地域活動にLINEを活用する研修会を実施してきた。今後はさらに高齢者のデジタルへの受容性を高め、地域活動の負担軽減や活性化につなげる。
②まちづくりサポートセンターを通じて域内外の人や市民活動団体、企業、大学などをマッチングさせ、地域の活性化につなげる。



福山市まちづくりサポートセンター



かとう ようすけ
加藤陽一郎
水曜会
(50分)
QRコード

神辺町と川南地区のまちづくりは

問 ①神辺駅周辺活性化ビジョン策定の進捗状況は。

②川南土地区画整理事業の進捗状況は。

答 ①神辺駅周辺のにぎわい創出に向けては、これまで福山駅周辺で行ってきたにぎわい再生の手法を取り入れながら、まずはビジョンを策定する。このため交通事業者や金融機関、地元の商工会など有識者で構成する神辺駅周辺のにぎわい創出協議会を7月5日に立ち上げ、同協議会の助言を得ながら（仮称）かなべ未来会議で議論を重ね、今年度中のビジョン策定をめざす。
②現在、約10・6ヘクタールの区域で道路および水路の工事や宅地の整地工事を進めている。5月末時点での進捗率は、施工中のものも含め、事業費ベースで約7割である。本年度末時点での進捗率は、事業費ベースで約9割と見込む。引き続き、2025年度の工事完成をめざし、整備を進める。



神辺町の川南地区



きっか たか
橋高 行格
水曜会
(50分)
QRコード

旧東村小学校の利活用は

問 ①これまでの経過は。

②市街化調整区域内に立地している施設であり、建物の利用用途に制約があると考ええる。民間事業者の提案に当たり、どのような施設が認められるか。

答 ①民間事業者による利活用の可能性等を検証するためのサウンディング調査の結果を踏まえ、2021年度から東村町活性化協議会で方向性等について話し合いを重ねてきた。その中で地域コミュニティーの維持および地域活性化につながる継続性のある事業であることなどといった地域の意向が示された。これを受け6月3日から民間事業者の募集を始めたところである。
②市街化調整区域内の既存建物の用途変更は、都市計画法に基づく開発許可が必要になる。今回のように地域再生や地域振興に資する利活用であれば、福山市開発審査会の審査を経て幅広く許可することができる。



旧東村小学校

※サウンディング調査：民間事業者との意見交換などを通し、事業に対してさまざまなアイデアや意見を把握する調査。